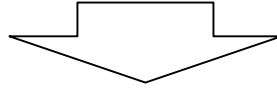


パークアンドバスライド

(平成13年8月～平成13年10月・平成14年1月～平成14年3月)

背景

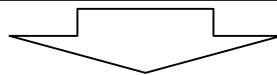
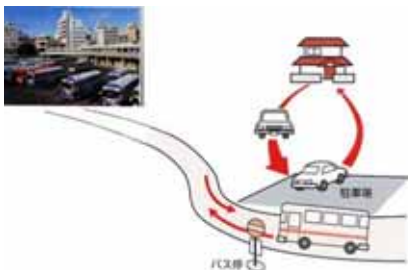
自動車の急速な増加により那覇都心部の道路は慢性的な渋滞に陥っている。
このため、自家用自動車からバスへの利用転換を促進して交通渋滞の緩和や渋滞による経済的損失などを解消するための実証実験を2回実施した。



実験の概要

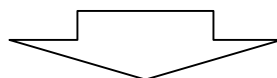
1 H13.8～H13.10に国道58号線ルート(宜野湾市～那覇バスターミナル間、運賃は400円)、H14.1～H14.3に国道329号線ルート(南風原町～那覇バスターミナル間、運賃は330円)で実施し、自家用自動車からバスへの利用転換を促進して交通渋滞の緩和や渋滞による経済的損失などを解消するための検証を行った。

- ・実施主体:琉球バス(株)・沖縄バス(株)・那覇交通(株)・東陽バス(株)
- ・運行ルート:国道58号線・国道329号線の2ルート
- ・広報活動を沖縄県等、交通指導を沖縄県警察本部が行うなど関係機関の支援、協力を得た。



実験の成果

平均乗車数は、国道58号線ルートが15人/両、国道329号線ルートが4.6人/両であった。
アンケート調査によると、国道58号線ルートは、通勤等時間の短縮という効果も見られたとの回答であった。



実証実験を行ったことにより問題や課題が浮き彫りになり、実証実験自体としては有意であったと思われるが、自治体の財政状況や実証実験の主体となった4社の経営状況等諸般の事情により本格的な実施には至っていない。本格的な実施にあたっては、駐車場の確保など国等の支援が不可欠と思われる。